

# FreeFem++ のグラフィックスを Word に取り込む方法

桂田 祐史

2016年1月20日, 2016年1月20日

風邪を引いて、昨晩は突っ伏してしまったので、ちょっと遅れました。色々なやり方が考えられます。いくつかあげてみます。

FreeFem++ 開発の中心人物である Hecht は、Mac ユーザーで、当然 TeX ユーザーでもあるので、まず PostScript 出力が出来れば、と考えていると思われます。

PostScript 出力は、FreeFem++ のプログラム中で、どのグラフィックスをどういう名前のファイルに保存するか指定できるので、まず PostScript で出力して、それをフォーマット変換するという手が使いやすいと考えられます。

1. Windows で、ウィンドウの画像を取り込みたいときに一般に使える方法。マウスカーソルを取り込みたいウィンドウに置いて、キーボードから `Alt+Print Screen` (`Print Screen` は、場合によっては `Fn` キーと一緒に押す必要があり、その場合は `Alt+Fn+PrintScreen` となる) を入力すると、画像がクリップボードにコピーできます。ファイルにしたければ、**ペイント**<sup>1</sup> のようなソフトにペーストしてから、適当に編集した後で、保存すると良いでしょう。もちろん、Word に直接ペーストすることも出来るはずですが。
2. FreeFem++-cs を使っている場合は、表示したグラフィックスをすべて保持していて、いくつかのフォーマットを選んでファイルに保存できたように記憶しています。
3. PostScript データを画像ファイルに変換するソフトを用意する。
  - TeX を使う人は、Ghostscript という PostScript データを表示するフリーソフトを同時にインストールしてあることが多いです。Ghostscript は PostScript データを各種の画像データに変換できます。
  - 画像のフォーマット変換ということでは、ImageMagick というフリーソフトが有名です。ImageMagick でも、PostScript を扱えるはずですが (中で Ghostscript を呼び出していたりしないか、ちょっと不安ですが…どうということかという、PostScript データは画像というよりは、「PostScript という言語で書かれた描画プログラム」なので、それを扱うのは大仕掛けになってしまうので、その部分は定評ある Ghostscript にお任せ、というソフトが多いのです。ImageMagick もそうである可能性があります)。
  - Adobe Acrobat を持っていれば、付属している Distiller というソフトで、PostScript データを PDF に変換できますね (Adobe は PostScript を作ったメーカーなので、PostScript 処理はお手のものです)。

---

<sup>1</sup> スタート → すべてのプログラム (P) → アクセサリ → ペイント として起動できる。

- Adobe Acrobat は商品ですが、フリーの PDF リーダーである、Skim というソフトは PostScript データの表示が出来て、PDF への変換もサポートしています。

FreeFem++-cs を使っているのならば、それから画像を保存できないか調べ、そうでない場合は、ImageMagick を試してみて、駄目ならば地道に `Alt+Print Screen` する、でいかがでしょう。